

令和7年度 第1回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和7年6月24日(火)

13時30分～15時30分

開催場所：教育文化会館 第6会議室

出席者：＜委員＞山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、新山委員、安田委員、青木委員、野口委員、竹内委員、星委員

出席者：＜事務局＞小島館長、北村分館長、平井分館長、石渡担当係長、大久保係長、高橋主任（記録）

傍聴者：2名

1 開会

2 事務連絡

傍聴2名。過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。

3 委嘱状交付

4 館長あいさつ

5 職員紹介

6 部会長あいさつ

7 委員自己紹介

8 報告

（1）川崎市労働会館改修工事等及び川崎市教育文化会館解体工事について

・生涯学習推進課より説明。

竹内委員）最終的な工期の確定はいつ頃を見込んでいるか。

生涯学習推進課）まだ現場で今後の手法が決まらず関係局からも示されていないため不明である。

9 議事

（1）市民館の貸館における飲食の運用について

・小島館長より説明

(2) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

・教育文化会館の事業について大久保係長から説明

竹内委員) 小学校にチラシ配布ができなくなったとの事だが代替えはどうしているか。

大久保係長) 小学校への個別連絡での配布や川崎イベントアプリを活用して周知している。

村社委員) 「にほんごひろば」の参加希望者のウェイティングは勿体ない。救済案はないか。

大久保係長) 他区の日本語学級を紹介しているが、教育文化会館を希望して待っている状況である。ボランティア養成講座を実施しているので修了者が参加しボランティアが増えウェイティングを解消できればと考えている。川崎区は外国人市民が増えている地域でもあり、区の方でも月1回土曜日に外国人市民向けの活動を行っている。

・大師分館の事業について北村分館長から説明

安田委員) 参加状況について、全て埋まるのか、それとも同じような人が色々参加しているのか。

北村分館長) 「スマホライフを楽しもう」は多くの方から応募があった。「HOT！するカフェだいし」は毎月楽しみにしているリピーターがいる。子育て系の「ほっと・ぱあく」「輝く明日へ！ありがとう」は対象年齢があるため毎年違う参加者である。

安田委員) 有意義な企画ばかりだが、今回専門部会参加に当たり分館の事業について周囲に尋ねたところ認知されていなかった。図書館より敷居が高いのかもしれないが、そのため同じような人が集中しているのではと質問した。

・田島分館の事業について平井分館長より説明

村社委員) 高齢者セミナーは良い内容なので月1回実施してはどうか。検討をお願いしたい。

平井分館長) 昨年度は月1回で実施していたがボランティアの高齢化等で人手が減り今回のような形になった。1年間経過を見て検証したいと考えている。

山澤部会長) 田島分館のスマホ相談会は大師分館のスマホ講座に落選した人も参加できるか。

平井分館長) 誰でも参加できる。

山澤部会長) 2館で補完し合えるのは良い。

(3) 協議テーマ 市民館のあり方について（介護予防、いきがい、健康づくりなど高齢化社会に向けて）

・小島館長から説明

山澤部会長）国分寺市の公民館で俳句入門講座を行ったが10人定員に31人集まった。グループワークを中心とした俳句作りを行ったところ、俳句は難しいが話し合うのが楽しいと好評である。俳句は作った句をお互いに感想を言い、褒め合うコミュニケーションの場でもあり、散策しながら感じたことを句にすることもあり、頭と身体・健康づくりにとても良いと考える。

星委員）家族も一緒に参加できるような病気予防の講座や様々な役所の手続きについて教えてくれるような講座があってはどうか。

青木委員）家族がデイサービスを利用する必要があったが行くのを渋っていたが、男性のみのデイサービスがある事を知りそこには行くことが出来た。そのような情報を知る場があればと考える。

小島館長）講座も男性限定・女性限定のように分けて行うのも一つの方法ということか。

青木委員）そうである。

新山委員）地域の高齢者介護施設の出来る事と教育文化会館のような社会教育施設のできる事それぞれ特性があるので、区別して検討したいと感じた。

竹内委員）講座も女性が圧倒的に多いので、男性限定のように区別して募集するのも参加に繋がると考える。主体的に参加できるかがキーワードと考えられるので一つのテーマを決め参加を募り、プロジェクトグループを作り、集まって知恵を出し合ってはどうか。集まったシニアの方に例えば「子どもとの交流イベント」「外国人の子どもとの地域交流について」等何でも良いと思うが区として優先順位の高い地域課題に関してのテーマを設定し、募集をかけて参加した人に考えて貰ってはどうか。

安田委員）色々と素晴らしい講座が揃っているのに人が集まらないのであれば、次回検討すると思うがやはり原因は広報にあるのではないか。ただシニア世代は健康づくりへの関心が高く、町会で健康に関するイベントを実施した時は30人程集まった。分館等で実施すればより多くの人が参加するのではないか。自分の中で教育と文化の範囲と定義は曖昧な部分もあるが、皆が楽しく集まれるのも大切であると考え。

村社委員）サークル連絡会の文化講座でアンチエイジングをテーマに頭と身体を使う社交ダンスの講座を実施する。1階のオープンペースだが、飲食ができるようになったので安全な健康器具を設置するか簡単な健康体操のポスターを掲示して運動もできるようにしてはどうか。おしゃべりをして飲み物を飲み、軽い運動もできるスペースも良いのではと考える。

テーマとしては「健康長寿のまち・川崎」が好ましく感じている。教育文化会館にも健康長寿を目指した講座を実施していただきたい。

山澤部会長）意見をまとめると、星委員は家族も一緒に参加できる病気を防ぐ講座と役所の手続きの分かり易い講座。青木委員は男性・女性を分けた講座が

あれば男性も参加しやすいのではとの事。竹内委員はテーマを決めてプロジェクトとして実施してどうかということであった。安井委員から広報についての意見があった。前年度も広報は意見として出たがこちらは社会教育施設の永遠の課題である。今回、事業について検討する中で広報も含めて考えても良いかもしれない。村社委員からの社交ダンスの講座の実施と川崎区は特に高齢化率が高いのでそこに焦点を当て「健康長寿のまち・川崎」というテーマで事業を考えてはどうかという事であった。新山委員からは自身の体験からのご意見もいただいた。自分の意見になるが、友達作りが長生きの秘訣でもあるので、事業にはグループワークを必ず取り入れている。

これらどれも良い意見だが 1・2 件に絞り次回は具体的に考え広報活動についても考えたい。実現できるかは分からないが参考になると考える。進め方について意見があれば伺いたい。

小島館長）どの意見も発想がとても素晴らしく、一つに絞るのがもったいないと考える。次回は、どのような講座になるのかイメージする中で、広報も考えて進めてはどうか。

山澤部会長）次回はそれぞれの意見を深め検討したい。男性・女性を分けるアイデアもとても良いが難しい部分もあるので事前に考えてきていただきたい。以前男性の料理教室もあったが継続していない状況もあるので新しい視点があればと考える。子どもとの交流イベント等も意見があればお願いしたい。

（４）今後のスケジュールについて

第２回 令和 7 年 9 月 9 日（火）13 時 30 分～

第３回 令和 7 年 12 月 16 日（火）13 時 30 分～

＊第４回については、土曜日から日曜日の実施で年末頃に調整

10 その他

11 閉会